

令和元年度 事業報告

公益財団法人 岩手県南技術研究センター

令和元年度 公益財団法人岩手県南技術研究センター事業報告

令和2年3月31日

事業名	内 容										
1.研究開発事業											
(1)技術相談(窓口随時受入)	<p>○ 技術相談を常時受入れ、当センター及び一関高専教員等の協力を得ながら対応を行った。 また、当センターで対応が難しい案件については、他の公設の試験機関等を紹介する等の対応を行った。</p>										
(2)試験・分析受託事業	<p>○ 企業等に分析機器を利用開放したほか、企業等の依頼により試験・分析受託事業に取り組んだ。 また、当センターの機器で対応困難な分野は、一関高専や公設の試験研究機関等を紹介等の対応を行った。</p> <table border="0" data-bbox="523 663 1508 757"> <tr> <td>R元年度試験分析機器利用件数</td> <td>904件</td> <td>(H29年度 1,005件、H30年度1,089件)</td> </tr> <tr> <td>R元年度試験・分析件数(依頼分析)</td> <td>221件</td> <td>(H29年度 138件、H30年度 184件)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,125件</td> <td>(H29年度 1,143件、H30年度1,273件)</td> </tr> </table>	R元年度試験分析機器利用件数	904件	(H29年度 1,005件、H30年度1,089件)	R元年度試験・分析件数(依頼分析)	221件	(H29年度 138件、H30年度 184件)	計	1,125件	(H29年度 1,143件、H30年度1,273件)	
R元年度試験分析機器利用件数	904件	(H29年度 1,005件、H30年度1,089件)									
R元年度試験・分析件数(依頼分析)	221件	(H29年度 138件、H30年度 184件)									
計	1,125件	(H29年度 1,143件、H30年度1,273件)									
(3)共同・受託研究開発事業	<p>○ 企業等による新製品・新技術等の研究開発を支援するため、共同研究及び企業ニーズと研究シーズのマッチングコーディネートを行った。</p> <p>【共同研究】(継続案件を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウルトラファインバブル水を活用した無添加による柔らかい餅の開発 ・マイクロバブルオゾン水によるプリザーブドフラワーの加工技術の開発 ・ウルトラファインバブル水の生成・長期保存の研究 ・ウルトラファインバブル水を活用したクリスマスローズのプリザーブドフラワーの研究 ・ウルトラファインバブル水を活用した果菜類の増収研究 ・ウルトラファインバブル水の養豚・養鶏への応用研究 ・もみ殻暖房の開発 <p>【企業ニーズと研究シーズのマッチングコーディネート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者介護補助システムの開発 ・ILCクライオモジュール精密位置決め調整架台用アクティブムーバーの機構開発の確立 										
(4)貸研究室整備・活用	<p>○ 「一関市研究開発プラザ」の指定管理者として、管理運営を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理期間：平成27年4月1日～令和2年3月31日 ・研究室A～I 9室 ・令和2年3月の利用状況、入居者 4企業、1研究室により8室利用。1室空き有。 <table border="0" data-bbox="523 1570 1241 1727"> <tr> <td>A：セルスペクト株式会社</td> <td>B：農商工連携研究室</td> </tr> <tr> <td>C：セルスペクト株式会社</td> <td>D：セルスペクト株式会社 *1</td> </tr> <tr> <td>E：開発管理技術研究所</td> <td>F：空き(徳用精密株式会社 *2)</td> </tr> <tr> <td>G：セルスペクト株式会社 *1</td> <td>H：徳用精密株式会社</td> </tr> <tr> <td>I：メタロジェニクス株式会社</td> <td></td> </tr> </table> <p>*1：令和2年3月31日付けで退去。 *2：令和元年12月27日付けで退去。</p>	A：セルスペクト株式会社	B：農商工連携研究室	C：セルスペクト株式会社	D：セルスペクト株式会社 *1	E：開発管理技術研究所	F：空き(徳用精密株式会社 *2)	G：セルスペクト株式会社 *1	H：徳用精密株式会社	I：メタロジェニクス株式会社	
A：セルスペクト株式会社	B：農商工連携研究室										
C：セルスペクト株式会社	D：セルスペクト株式会社 *1										
E：開発管理技術研究所	F：空き(徳用精密株式会社 *2)										
G：セルスペクト株式会社 *1	H：徳用精密株式会社										
I：メタロジェニクス株式会社											
(5)企業訪問・研究ニーズの把握・情報提供	<p>○ 企業の現状・課題、研究ニーズの把握や研究シーズの情報提供等のため、企業等への訪問を行った。</p>										

事業名	内容
<p>2.ものづくり人材育成事業</p> <p>(1)ものづくり人材育成事業</p>	<p>○ 一関市ものづくり人材育成事業（一関市補助事業）</p> <p>【分析系】</p> <p>①分析技術基礎講座 研修期間 令和元年6月1日～6月15日 3コマ 受講者数6名 ・分析化学基礎、試料の前処理の講義 ・試料表面の観察方法（電子顕微鏡、デジタルマイクロスコープ、レーザー顕微鏡） ・試料中の元素の特定方法（ICP-AES、FT-IR）</p> <p>②分析技術実践講座 研修期間 令和元年10月11日～令和2年2月1日 ・表面と内部非破壊分析技術研修 2コマ 受講者数3名 講義（製品・部品内部の欠陥・欠損を調査する方法、サンプル作製方法） 実習（X線CT、デジタルマイクロスコープ、電子顕微鏡）</p> <p>・環境負荷分析技術研修 2コマ 受講生数4名 講義（ICP発光分析装置の測定原理、環境負荷物質規制の最新概要とスクリーニング法について） 実習（ICP発光分析装置による精密分析、蛍光X線分析装置によるスクリーニング法）</p> <p>・微量、微小領域の異物の特定技術研修 2コマ 受講者数2名 講義（蛍光X線分析装置を用いた分析方法、微小・微量異物の分析方法） 実習（蛍光X線、FT-IR、SEM-EDXを用いた異物特定の実習）</p> <p>【材料系】</p> <p>①金属材料講座 研修期間 令和元年7月13日～27日 3コマ 受講者数4名 ・講義（金属の結晶構造、金属の熱処理、合金状態図の読み方、金属材料の強度、クラフトグラフィー） ・実習（光学顕微鏡による観察、電子顕微鏡による観察、蛍光X線分析装置による元素分析、引張試験、硬度測定、破面観察）</p> <p>【技能系】</p> <p>①フライス盤・旋盤加工技術講座 （1回目）令和元年5月11日～6月1日 4コマ 受講者数8名 （2回目）令和元年11月16日～12月7日 4コマ 受講者数8名 ・講義：切削加工概論、加工の基礎・安全、フライス盤・旋盤の基礎 ・フライス盤（切削工具及び工作物の取付、平面加工、溝加工） ・旋盤（切削工具及び工作物の取付、外丸削り、端面削り、曲面削り、ねじ切り） ・フライス盤、旋盤応用加工</p> <p>【CAD系】</p> <p>①3次元CAD基礎講座 研修期間 令和元年7月4日～7月5日 2コマ 受講者数12名 ・3DCADの概要、画面操作、スケッチ、ソリッドモデリング、ダイレクトモデリング、アセンブリ、図面</p> <p>②3次元CAD実践講座 （CAM講座）令和元年10月3日 1コマ 受講者数7名 ・CAMのセットアップ、工具設定、切削条件設定、データの修正、ツールパス作成、加工検討、NCデータ作成、加工指示書の作成、3Dプリンターへの出力など</p> <p>（CAE講座）令和元年10月4日 1コマ 受講者数6名 ・CAEの概要、線形静解析の一連の流れ（形状入力、材料設定、メッシュ設定、拘束条件、荷重設定、接触条件、解析結果の確認方法など）</p>

事業名	内 容																																									
<p>(2)少年少女の科学の芽育成事業 (キッズサイエンス2019 × いちのせきサイエンスカフェ)</p>	<p>○ 一関市ものづくり産業振興事業（一関市委託事業）</p> <p>【技能・技術等資格取得支援事業】</p> <p>① QC検定支援講座 研修期間 令和元年7月5日～令和2年1月24日</p> <table border="0"> <tr> <td>・入門講座</td> <td>3コマ</td> <td>受講者数12名</td> </tr> <tr> <td>・3級（平日コース）1回目</td> <td>3コマ</td> <td>受講者数13名</td> </tr> <tr> <td>・3級（平日コース）2回目</td> <td>4コマ</td> <td>受講者数10名</td> </tr> <tr> <td>・3級（土曜日コース）1回目</td> <td>3コマ</td> <td>受講者数21名</td> </tr> <tr> <td>・3級（土曜日コース）2回目</td> <td>4コマ</td> <td>受講者数 2名</td> </tr> <tr> <td>・2級フォローアップ</td> <td>2コマ</td> <td>受講者数 5名</td> </tr> </table> <p>②一関市での品質管理検定実施 検定日 令和元年9月1日 会 場 一関高専 受検者 491名 （内訳）</p> <table border="0"> <tr> <td>・1級</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>・2級</td> <td>80名</td> </tr> <tr> <td>・3級</td> <td>294名</td> </tr> <tr> <td>・4級</td> <td>114名</td> </tr> </table> <p>③技能検定 機械加工 資格取得支援講座（普通旋盤3級、フライス盤3級、NC旋盤2,3級、NCフライス盤2級） 研修期間 令和2年1月25日～2月22日 4コマ 受講者数10名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義（各機械の基本操作、要素加工、技能検定加工工程の説明） ・実習（技能検定各級の課題製作） <p>○ 生産性向上と設計開発力強化による新産業参入事業（岩手県補助事業）</p> <p>①高度技術研修（分析技術習得講座） 研修期間 令和元年7月18日～令和2年1月23日</p> <table border="0"> <tr> <td>・第1回 表面と内部非破壊分析の習得</td> <td>2コマ</td> <td>受講者数2名</td> </tr> <tr> <td>・第2回 微量・微小領域の異物の特定技術の習得</td> <td>2コマ</td> <td>受講者数1名</td> </tr> <tr> <td>・第3回 表面と内部非破壊分析の習得</td> <td>2コマ</td> <td>受講者数1名</td> </tr> <tr> <td>・第4回 微量・微小領域の異物の特定技術の習得</td> <td>2コマ</td> <td>受講者数2名</td> </tr> <tr> <td>・第5回 表面と内部非破壊分析の習得</td> <td>2コマ</td> <td>受講者数5名</td> </tr> </table>	・入門講座	3コマ	受講者数12名	・3級（平日コース）1回目	3コマ	受講者数13名	・3級（平日コース）2回目	4コマ	受講者数10名	・3級（土曜日コース）1回目	3コマ	受講者数21名	・3級（土曜日コース）2回目	4コマ	受講者数 2名	・2級フォローアップ	2コマ	受講者数 5名	・1級	3名	・2級	80名	・3級	294名	・4級	114名	・第1回 表面と内部非破壊分析の習得	2コマ	受講者数2名	・第2回 微量・微小領域の異物の特定技術の習得	2コマ	受講者数1名	・第3回 表面と内部非破壊分析の習得	2コマ	受講者数1名	・第4回 微量・微小領域の異物の特定技術の習得	2コマ	受講者数2名	・第5回 表面と内部非破壊分析の習得	2コマ	受講者数5名
	・入門講座	3コマ	受講者数12名																																							
・3級（平日コース）1回目	3コマ	受講者数13名																																								
・3級（平日コース）2回目	4コマ	受講者数10名																																								
・3級（土曜日コース）1回目	3コマ	受講者数21名																																								
・3級（土曜日コース）2回目	4コマ	受講者数 2名																																								
・2級フォローアップ	2コマ	受講者数 5名																																								
・1級	3名																																									
・2級	80名																																									
・3級	294名																																									
・4級	114名																																									
・第1回 表面と内部非破壊分析の習得	2コマ	受講者数2名																																								
・第2回 微量・微小領域の異物の特定技術の習得	2コマ	受講者数1名																																								
・第3回 表面と内部非破壊分析の習得	2コマ	受講者数1名																																								
・第4回 微量・微小領域の異物の特定技術の習得	2コマ	受講者数2名																																								
・第5回 表面と内部非破壊分析の習得	2コマ	受講者数5名																																								
<p>○ いちのせきサイエンスカフェとコラボレートし、子どもの創造力や自然探究心等を育てるため、ものづくり科学の体験講座を開催した。</p> <p>開催日 : 令和元年8月3日 開催場所 : 岩手県南技術研究センター テーマ : 「目の前の空気から現れる!? 消える!？」 ～身近な氷の不思議とドライアイスを使った空気の色を体験してみよう!～ 講師 : 一関工業高等専門学校未来創造工学科 総合科学自然領域 助教 山野内 敬 氏 工作 : ペットボトルとドライアイスを使った噴水器の作成 参加者 : 子供 32名 保護者等 27名 計 59名</p>																																										

事業名	内容
<p>3.地域連携事業</p> <p>(1)産学官イブニング研究交流会</p> <p>(2)地域企業情報ガイダンス</p> <p>(3)企業情報交換会</p>	<p>○ 連携強化とネットワーク構築を図るため、産学官イブニング研究交流会を開催した。</p> <p>令和元年4月から令和2年2月まで毎月第3水曜日を中心に開催 計11回開催 参加者延べ 570名(平成29年度709名、平成30年度605名)</p> <p>①4月17日(第211回) 新年度メンバーの紹介、名刺交換会</p> <p>②5月14日(第212回) 働き方改革(川嶋印刷(株)小野寺様)、 一関高専の教育(一関高専 吉田校長)</p> <p>③6月19日(第213回) 産学連携事例(株)佐原 田中様、一関高専 鈴木先生)</p> <p>④7月17日(第214回) 農商工連携(元U-11社長 都築様) *一関市農商工連携セミナーと併催</p> <p>⑤8月21日(第215回) 小型家電のリサイクルとみんなのメダルPRJ (ニューアイメック(株)熊谷様)</p> <p>⑥9月18日(第216回) ロボティクス(一関高専 藤原先生、原先生)</p> <p>⑦10月16日(第217回) IT展開事例(茨城県産業戦略部 掛札様) *一関市IT活用業務改善セミナーと併催</p> <p>⑧11月20日(第218回) 日本端子(株)の概要と花泉工場(日本端子(株) 藤澤様)</p> <p>⑨12月18日(第219回) ものづくり教育(一関高専 千葉先生)、 知的財産教育(一関高専 貝原先生)</p> <p>⑩1月15日(第220回) ウルトラファインバブルの現状と展望(県南技研 小田嶋所長)</p> <p>⑪2月19日(第221回) 東北地域の持続的な成長に向けて(東北経済産業局長 相楽様) ※第14回企業情報交換会と併催</p> <p>⑫3月18日(-) 令和2年度助成事業紹介(東北経済産業局、岩手労働局) *新型コロナウイルス感染症防止対策の為、中止とした。</p> <p>○ 地域企業への理解を深め、学生等の職業選択への支援や若者の地元定着を促進するため、第12回地域企業情報ガイダンスを開催した。</p> <p>令和元年10月26日 12:20~15:30 一関高専 第1体育館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加企業による会社概要等の説明 ・出展42社(中東北地域 23社、その他岩手県内19社)、2団体(気仙沼、大崎) 計44ブース 来場者390名 <p>○ 地域企業等による技術連携、技術・情報交流を図るため、第14回企業情報交換会を開催した。</p> <p>令和2年2月19日 展示 10:30~15:00 一関市総合体育館 講演 16:15~17:45 ベリーノホテル一関 交流会 18:00~19:30 ベリーノホテル一関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出展68社・9団体、78ブース 来場者数延べ人数 835名 ・講演 演題:東北地域の持続的な成長に向けて 講師:東北経済産業局長 相楽 希美氏

事業名	内容
(4)発明・特許等相談支援	<p>○ 発明協会等の関係機関と連携を図るとともに、相談会の開催に係る支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 知財化に関する相談を受け入れ、発明協会と連携し対応にあたった。 ・ 岩手県知財総合支援窓口・知財総合支援アドバイザーによる出張相談会「知的財産権無料相談会」令和元年5月14日、9月11日、11月20日、令和2年3月4日 <p>場所 岩手県南技術研究センター 主催 (一社)岩手県発明協会</p>
(5)地域内発型産業の振興	<p>○ 一関市ものづくり産業振興事業（一関市委託事業）</p> <p>【農商工連携推進事業】</p> <p>①農商工連携セミナー 令和元年7月17日 16:15～17:45 ベリーノホテル一関 ・ 来場者数 92名 ・ 講演 演題：農業・食料・流通事業とこれからの農業経営 講師：一般社団法人 農商工連携推進協議会 代表理事、元ローソン・ジャパン社長 都築 富士男 氏</p> <p>【先進地視察】</p> <p>①令和元年10月10日～10月11日 小田嶋所長</p> <ul style="list-style-type: none"> a)千葉県千葉市 第9回農業WEEK展示会（幕張メッセ） b)東京都江東区 令和元年度「農林水産食品産業マイクロナノバブル技術研究組合」公開セミナー <p>②令和元年11月7日 小田嶋所長</p> <ul style="list-style-type: none"> a)岩手県矢巾町 岩手医科大学とのウルトラファインバブル研究協議 <p>【成分分析・実証試験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①にんにく成分分析 4回 ②ショウガ成分分析 4回 ③納豆菌サプリメント中の水溶性ビタミン類の分析 ④あけびの皮と果肉に成分分析

事業名	内容
<p>4.情報提供促進事業</p> <p>(1)県南技研だよりの発行</p> <p>(2)ホームページ等の活用</p> <p>(3)利用ガイドの活用</p> <p>(4)関係機関等との連携</p>	<p>○ 広報紙である県南技研だよりを毎月1回発行し、当センターが実施する各種事業の情報のほか、行政や関係機関等が実施する各種事業を掲載し、周知を図った。</p> <p>○ ホームページを通じて当センターの概要、実施する各種事業や試験分析機器等の各種情報のほか、行政や関係機関等の各種情報を随時掲載し、広く情報発信を行った。</p> <p>○ 施設・機器の利用促進を図るため、概要を掲載した利用ガイドを第12回地域企業情報ガイダンス、第14回企業情報交換会inいちのせき、企業訪問等で配布した。また、岩手県生産性向上と設計開発力強化による新産業参入事業 関係機関運営会議で紹介を行った。</p> <p>○ 関係機関等と連携を密にし、情報交換及び情報収集を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県（地域経済牽引支援機関として） ・岩手県生産性向上と設計開発力強化による新産業参入事業 関係機関運営会議 ・北上川流域ものづくり推進ネットワーク ・北上川流域地域産業活性化協議会 ・南いわて食産業クラスター形成ネットワーク ・中東北ものづくり産業推進連絡会議 ・中東北専門人材確保支援事業関係機関等連絡会議 ・一関商工会議所 ・清庵の里 ・両磐インダストリアルプラザ ・KCみやぎ推進ネットワーク ・栗原市企業連絡協議会 ・一関高専 ・岩手大学（岩手ネットワークシステム） ・岩手県発明協会 ・北上オフィスプラザでのQC検定開催準備支援等交流 ・いわて産業振興センター ・いわて加速器関連産業研究会 ・釜石大槌地域産業育成センター
<p>5.財団運営の基盤強化</p> <p>(1)地域産業支援基金の管理・運用</p> <p>(2)賛助会員募集</p>	<p>○ 運営基盤を強化するため、地域産業支援基金の適切な管理と運用を行った。</p> <p>○ 賛助会員の募集を行った。</p> <p>賛助会員：令和元年度 83社1個人（平成29年度87社1個人、平成30年度86社1個人） 新規1社：東北大学大学院文学研究科考古学研究室 様 脱会4社：NECプラットフォームズ株式会社様、株式会社 東北大理石様 大井電気株式会社様、デグセリアルズ株式会社様</p>

令和元年度 収支予算

公益財団法人 岩手県南技術研究センター

令和元年度貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位：円)

	科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
1	I 資産の部			
2	1. 流動資産			
3	現金預金	25,286,037	22,025,964	3,260,073
4	未収金	1,504,540	3,487,954	-1,983,414
5	未収消費税	0	0	0
6	流動資産合計	26,790,577	25,513,918	1,276,659
7	2. 固定資産			
8	(1) 基本財産			
9	定期預金	30,000,000	30,000,000	0
10	基本財産合計	30,000,000	30,000,000	0
11	(2) 特定資産			
12	建物	9,945,957	4,545,850	5,400,107
13	定期預金	63,220,000	63,220,000	0
14	機械装置	7,399,876	12,333,126	-4,933,250
15	特定資産合計	80,565,833	80,098,976	466,857
16	(3) その他固定資産			
17	建物	3,919,526	3,362,100	557,426
18	機械装置	22,075,416	25,879,732	-3,804,316
19	什器備品	96,652	271,022	-174,370
20	電話加入権	216,000	216,000	0
21	その他固定資産合計	26,307,594	29,728,854	-3,421,260
22	固定資産合計	136,873,427	139,827,830	-2,954,403
23	資産合計	163,664,004	165,341,748	-1,677,744
24	II 負債の部			
25	1. 流動負債			
26	未払金	543,427	3,692,515	-3,149,088
27	未払法人税等	164,900	140,600	24,300
28	未払消費税	387,500	255,000	132,500
29	前受金	33,000	0	33,000
30	預り金	237,451	465,826	-228,375
31	流動負債合計	1,366,278	4,553,941	-3,187,663
32	2. 固定負債			
33	退職給付引当金	21,499	21,499	0
34	固定負債合計	21,499	21,499	0
35	負債合計	1,387,777	4,575,440	-3,187,663
36	III 正味財産の部			
37	1. 指定正味財産			
38	機器購入補助金等	17,237,307	16,698,492	538,815
39	寄付金	93,220,000	93,220,000	0
40	指定正味財産合計	110,457,307	109,918,492	538,815
41	(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)
42	(うち特定資産への充当額)	(80,457,307)	(79,918,492)	(538,815)
43	2. 一般正味財産	51,818,920	50,847,816	971,104
44	(うち特定資産への充当額)	(108,526)	(180,484)	(-71,958)
45	正味財産合計	162,276,227	160,766,308	1,509,919
46	負債及び正味財産合計	163,664,004	165,341,748	-1,677,744

令成元年度貸借対照表内訳表

令和2年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	9,147,060	5,772,607	10,366,370		25,286,037
未収金	1,504,540	0	0		1,504,540
未収消費税	0	0	0		0
内部会計立替金	64,721	326,282	1,561,118	-1,952,121	0
流動資産合計	10,716,321	6,098,889	11,927,488	-1,952,121	26,790,577
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
定期預金	30,000,000	0	0		30,000,000
基本財産合計	30,000,000				30,000,000
(2) 特定資産					
建物	8,313,342	0	1,632,615		9,945,957
定期預金	63,220,000	0	0		63,220,000
機械装置	7,399,876	0	0		7,399,876
特定資産合計	78,933,218	0	1,632,615		80,565,833
(3) その他固定資産					
建物	2,525,733	889,568	504,225		3,919,526
機械装置	22,075,416	0	0		22,075,416
什器備品	4	55,802	40,846		96,652
電話加入権	144,000	0	72,000		216,000
その他固定資産合計	24,745,153	945,370	617,071		26,307,594
固定資産合計	133,678,371	945,370	2,249,686		136,873,427
資産合計	144,394,692	7,044,259	14,177,174	-1,952,121	163,664,004
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	34,650	56,436	452,341		543,427
未払法人税等	0	142,900	22,000		164,900
未払消費税	0	0	387,500		387,500
前受金	0	33,000	0		33,000
預り金	29,734	6,457	201,260		237,451
内部会計未払金	1,512,453	372,795	66,873	-1,952,121	0
流動負債合計	1,576,837	611,588	1,129,974	-1,952,121	1,366,278
2. 固定負債					
退職給付引当金	0	0	21,499		21,499
固定負債合計			21,499		21,499
負債合計	1,576,837	611,588	1,151,473	-1,952,121	1,387,777
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
機器購入補助金等	15,604,692	0	1,632,615		17,237,307
寄付金	93,220,000	0	0		93,220,000
指定正味財産合計	108,824,692	0	1,632,615		110,457,307
(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)				(30,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(78,824,692)		(1,632,615)		(80,457,307)
2. 一般正味財産	33,993,163	6,432,671	11,393,086		51,818,920
(うち特定資産への充当額)	(108,526)				(108,526)
正味財産合計	142,817,855	6,432,671	13,025,701		162,276,227
負債及び正味財産合計	144,394,692	7,044,259	14,177,174	-1,952,121	163,664,004

令和元年度 正味財産増減計算書(全体)

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(全体)

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 一般正味財産の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	2,100	3,900	-1,800
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	7,537	5,162	2,375
③ 受取会費			
賛助会員受取会費	3,360,000	3,500,000	-140,000
④ 事業収益			
試験・分析収入	6,271,060	6,337,600	-66,540
施設設備使用料収入	22,550	17,470	5,080
受講料収入	407,400	388,800	18,600
研究開発プラザ使用料収入	3,459,177	3,099,745	359,432
受託事業収入(一関市)	4,439,388	4,856,978	-417,590
受託事業収入(一関高専)	0	120,000	-120,000
受託事業収入(岩手県)	0	300,000	-300,000
⑤ 受取補助金等			
受取補助金振替額	5,324,185	10,692,633	-5,368,448
受取補助金(空調設備)(一関市)	0	0	0
受取地方公共団体補助金(一関市)	46,368,000	41,678,000	4,690,000
受取地方公共団体補助金(岩手県)	1,052,000	1,353,000	-301,000
⑥ 受取負担金			
受取負担金(一関市)	1,000,000	500,000	500,000
受取負担金(栗原市)	50,000	50,000	0
受取負担金(南磐手工業団地/RIP岩手工業団地)	100,000	100,000	0
受取負担金(一関高専)	120,000	0	120,000
受取負担金(岩手県)	300,000	0	300,000
⑦ 雑収益			
雑収入	120,727	65,506	55,221
経常収益計(A)	72,404,124	73,068,794	-664,670
(2) 経常費用			
① 事業費			
給料手当	24,715,172	25,507,005	-791,833
臨時雇賃金	56,000	51,600	4,400
会議費	20,424	18,210	2,214
旅費交通費	371,700	169,534	202,166
通信運搬費	705,296	679,031	26,265
減価償却費(指定正味振替分)	5,240,865	10,672,755	-5,431,890
減価償却費 ※1	4,264,859	4,949,299	-684,440
消耗品費	7,491,944	6,088,971	1,402,973
修繕費	7,970,672	6,229,092	1,741,580
手数料	92,874	89,956	2,918
印刷製本費	1,556,550	1,479,566	76,984
光熱水料費	2,708,799	2,674,740	34,059
使用料及び賃借料	574,909	367,834	207,075
施設使用料	0	0	0
租税公課	541,037	522,291	18,746
保険料	240,588	200,640	39,948
諸謝費	1,928,000	2,527,200	-599,200
委託費	4,036,275	3,753,327	282,948
建物附属設備(空調設備費)	0	0	0
建物附属設備(衛生設備費)	0	0	0
雑支出	42,714	10,808	31,906
教材費	256,428	280,540	-24,112
② 管理費			
役員報酬	85,000	80,000	5,000
給料手当	4,943,751	5,022,487	-78,736
会議費	28,705	24,780	3,925
旅費交通費	147,864	109,632	38,232
通信運搬費	99,481	109,217	-9,736
減価償却費(指定正味振替分)	83,320	19,878	63,442
減価償却費 ※1	64,189	45,878	18,311
消耗品費	597,235	503,822	93,413
修繕費	174,592	145,241	29,351
手数料	25,370	30,672	-5,302
印刷製本費	38,325	114,299	-75,974
光熱水料費	462,124	466,223	-4,099
使用料及び賃借料	124,517	36,482	88,035
租税公課	159,163	103,409	55,754
保険料	41,293	34,438	6,855
支払負担金	250,279	231,103	19,176
委託費	919,908	321,292	598,616
雑支出	186,298	226,206	-39,908
広報費	21,600	21,600	0
経常費用計(B)	71,268,120	73,919,058	-2,650,938
当期経常増減額(C)=(A)-(B)	1,136,004	-850,264	1,986,268
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取寄付金振替額	0	0	0
経常外収益計(D)	0	0	0
(2) 経常外費用			
寄付金返還額	0	0	0
経常外費用計(E)	0	0	0
当期経常外増減額(F)=(D)-(E)	0	0	0
当期一般正味財産増減額(G)=(C)+(F)	1,136,004	-850,264	1,986,268
他会計振替額			
税引前当期一般正味財産増減額	1,136,004	-850,264	1,986,268
法人税、住民税及び事業税	164,900	140,600	24,300
当期一般正味財産増減額	971,104	-990,864	1,961,968
一般正味財産期首残高	50,847,816	51,838,680	-990,864
一般正味財産期末残高	51,818,920	50,847,816	971,104
II. 指定正味財産増減の部			
機器購入補助金	5,863,000	4,665,600	1,197,400
一般正味財産への振替額	5,324,185	10,692,633	-5,368,448
当期指定正味財産増減額	538,815	-6,027,033	6,565,848
指定正味財産期首残高	109,918,492	115,945,525	-6,027,033
指定正味財産期末残高	110,457,307	109,918,492	538,815
III. 正味財産期末残高	162,276,227	160,766,308	1,509,919

令和元年度正味財産増減計算書内訳表

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内債取得等	合 計
	公益目的事業1	公益目的事業2	共通	公益目的事業小計	収益事業1	収益事業2	収益事業小計			
I 一般正味財産増減の部										
1 経常増減の部										
(1) 経常収益										
①基本財産運用益										
基本財産受取利息			2,100	2,100						2,100
②特定資産運用益										
特定資産受取利息			7,587	7,587						7,587
③受取会費										
賛助会員受取会費								3,360,000		3,360,000
④事業収益										
試験・分析収入	6,271,060			6,271,060						6,271,060
施設設備使用料収入					22,550		22,550			22,550
受講料収入		407,400		407,400						407,400
研究開発プラザ使用料収入					3,459,177		3,459,177			3,459,177
受託事業収入(一関市)	864,027	3,201,426		4,065,453		373,935	373,935			4,439,388
受託事業収入(一関高専)										
受託事業収入(岩手県)										
受託事業収入(民間企業)										
⑤受取補助金等										
受取補助金振替額	4,669,610	557,368	13,887	5,240,865				83,320		5,324,185
受取国庫補助金(機器整備)										
受取補助金(機器整備)(一関市)										
受取補助金(空調設備)(一関市)										
受取地方公共団体補助金(一関市)	21,062,000	17,428,000	1,172,000	39,662,000				6,706,000		46,368,000
受取地方公共団体補助金(岩手県)		1,052,000		1,052,000						1,052,000
北上川ものづくりネットワーク										
⑥受取負担金										
受取負担金(一関市)	1,000,000			1,000,000						1,000,000
受取負担金(栗原市)	50,000			50,000						50,000
受取負担金(両巻)『スリッパ』研/RIP岩手工業(株)』	100,000			100,000						100,000
受取負担金(一関高専)	120,000			120,000						120,000
受取負担金(岩手県)	300,000			300,000						300,000
⑦受取寄付金										
雑収入	67,960	28,930		96,890				23,837		120,727
経常収益計(A)	34,504,657	22,675,124	1,195,524	58,375,305	3,481,727	373,935	3,855,662	10,173,157		72,404,124
(2) 経常費用										
①事業費										
給料手当	13,732,635	10,042,516	823,959	24,599,110	116,062		116,062			24,715,172
臨時雇賃金							56,000	56,000		56,000
会議費	2,904	13,200		16,104			4,320	4,320		20,424
旅費交通費	165,323	15,355	146,404	327,082	14,900		29,718	44,618		371,700
通信運搬費	311,371	133,485	10,715	455,571	150,872		98,853	249,725		705,296
減価償却費(指定正味振替分※1)	4,669,610	557,368	13,887	5,240,865						5,240,865
減価償却費(※1以外の費用)	2,815,693	1,393,611	8,213	4,217,517	47,342		47,342			4,264,859
消耗品費	2,234,128	5,112,266		7,346,394	116,124		29,426	145,550		7,491,944
修繕費	7,561,428	349,184	32,736	7,943,348			27,324	27,324		7,970,672
手数料	16,194	43,859		60,053	10,689		22,132	32,821		92,874
印刷製本費	1,253,896	211,310	14,750	1,479,956	76,594		76,594			1,556,550
光熱水料費	1,404,822	924,248	86,649	2,415,719	293,080		293,080			2,708,799
使用料及び賃借料	294,731	169,072	8,632	472,435	5,754		96,720	102,474		574,909
施設使用料										
租税公課		166,317	250,000	416,317	120,000		4,720	124,720		541,037
保険料	121,299	103,386	7,742	232,427	5,161		3,000	8,161		240,588
補助金	100,000	1,828,000		1,928,000						1,928,000
支払負担金										
委託費	1,554,410	1,497,846	50,139	3,102,395	933,880		933,880			4,036,275
建物附属設備(空調設備費)										
建物附属設備(衛生設備費)										
雑支出	31,414	800	3,000	35,214	7,500		7,500			42,714
広報費		256,428		256,428						256,428
②管理費										
役員報酬								85,000		85,000
給料手当								4,943,751		4,943,751
臨時雇賃金										
会議費								28,705		28,705
旅費交通費								147,864		147,864
通信運搬費								99,481		99,481
機器装置費										
減価償却費(指定正味振替分※1)								83,320		83,320
減価償却費(※1以外の費用)								64,189		64,189
消耗品費								597,235		597,235
原材料費										
修繕費								174,592		174,592
建物附属設備(空調設備費)										
建物附属設備(衛生設備費)										
手数料										25,370
印刷製本費										38,325
光熱水料費										462,124
使用料及び賃借料										124,517
租税公課										159,163
保険料										41,293
補助金										250,279
支払負担金										919,908
委託費										186,298
雑支出										21,600
広報費										21,600
経常費用計(B)	36,269,858	22,818,251	1,456,826	60,544,935	1,925,282	344,889	2,270,171	8,453,014		71,268,120
当期経常増減額(C)=(A)-(B)	-1,765,201	-143,127	-261,302	-2,169,630	1,556,445	29,046	1,585,491	1,720,143		1,136,004
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
受取寄付金振替額										
経常外収益計(D)										
(2) 経常外費用										
寄付金返還額										
経常外費用計(E)										
当期経常外増減額(F)=(D)-(E)										
当期一般正味財産増減額(G)=(C)+(F)	-1,765,201	-143,127	-261,302	-2,169,630	1,556,445	29,046	1,585,491	1,720,143		1,136,004
前会計振替額	-253,089		893,680	640,591	-640,591		-640,591			
税引前当期一般正味財産増減額	-2,018,290	-143,127	632,378	-1,529,039	915,854	29,046	944,900	1,720,143		1,136,004
法人税、住民税及び事業税										164,900
当期一般正味財産増減額	-2,018,290	-143,127	632,378	-1,529,039	772,954	29,046	802,000	1,698,143		971,104
一般正味財産期首残高	-18,204,299	-15,334,824	69,061,325	35,522,202	5,484,315	146,356	5,630,671	9,694,943		50,847,816
一般正味財産期末残高	-20,222,589	-15,477,951	69,693,703	33,993,163	6,257,269	175,402	6,432,671	11,393,086		51,818,920
II 指定正味財産増減の部										
機器購入補助金	2,810,722	1,913,683	179,408	4,903,813				959,187		5,863,000
一般正味財産への振替額	4,669,610	557,368	13,887	5,240,865				83,320		5,324,185
当期指定正味財産増減額	-1,858,888	1,356,315	165,521	-377,052				875,867		538,815
指定正味財産期首残高	6,287,864	9,524,234	93,349,646	109,161,744				756,748		109,918,492
指定正味財産期末残高	4,428,976	10,880,549	93,515,167	108,824,692				1,632,615		110,457,307
III 正味財産期末残高	-15,793,613	-4,597,402	168,208,870	142,817,855	6,257,269	175,402	6,432,671	18,025,701		162,276,227

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物	定額法
機械装置	定率法
什器備品	定率法

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金
職員の退職に備えるため、期末退職給与の要支給額を計上する。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	30,000,000	0	0	30,000,000
小 計	30,000,000	0	0	30,000,000
特定資産				
定期預金	63,220,000	0	0	63,220,000
建物	4,545,850	5,400,107	0	9,945,957
機械装置	12,333,126	0	4,933,250	7,399,876
小 計	80,098,976	5,400,107	4,933,250	80,565,833
合 計	110,098,976	5,400,107	4,933,250	110,565,833

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	30,000,000	30,000,000	0	0
小 計	30,000,000	30,000,000	0	0
特定資産				
定期預金	63,220,000	63,220,000	0	0
建物	9,945,957	9,945,957	0	0
機械装置	7,399,876	7,291,350	108,526	0
小 計	80,565,833	80,457,307	108,526	0
合 計	110,565,833	110,457,307	108,526	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
機械装置 (特定資産)	80,915,400	73,515,524	7,399,876
機械装置	103,351,500	81,276,084	22,075,416
建物 (特定資産)	10,528,600	582,643	9,945,957
建物	4,291,830	372,304	3,919,526
什器備品	2,236,785	2,140,133	96,652
合 計	201,324,115	157,886,688	43,437,427

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
機器購入補助金 (H25)	東北経済産業局	1	0	0	1	指定正味財産
機器購入補助金 (H25)	一関市	0	0	0	0	指定正味財産
機器購入補助金 (H27)	東北経済産業局	2,828,270	0	1,131,430	1,696,840	指定正味財産
機器購入補助金 (H27)	一関市	2,648,286	0	1,059,428	1,588,858	指定正味財産
機器購入補助金 (H28)	一関市	6,676,085	0	2,670,434	4,005,651	指定正味財産
空調設備購入補助金 (H30)	一関市	4,545,850	0	350,030	4,195,820	指定正味財産
空調設備購入補助金 (R1)	一関市	0	5,863,000	112,863	5,750,137	指定正味財産
地域活性化プロジェクト補助金	岩手県	0	1,052,000	1,052,000	0	-
運営費補助金	一関市	0	40,368,000	40,368,000	0	-
ものづくり人材育成補助金	一関市	0	6,000,000	6,000,000	0	-
合 計		16,698,492	53,283,000	52,744,185	17,237,307	-

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	5,324,185
合 計	5,324,185

7. 関連事業者との取引の内容

関連当事者との取引に該当するものはない。

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表に対する注記に記載をしているため省略している。

2. 引当金の明細

引当金の明細については、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	21,499				21,499

財 産 目 録

令和2年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	普通預金	岩手銀行一関支店	運転資金として	15,615,502	
		岩手銀行一関支店	運転資金として	2,606,670	
		岩手銀行一関支店	運転資金として	254,269	
		岩手銀行一関支店	運転資金として	900,000	
		岩手銀行一関支店	運転資金として	5,887,217	
		北日本銀行一関支店	運転資金として	440	
		東北銀行一関支店	運転資金として	220	
		一関信金萩荘支店	運転資金として	21,499	
		一関信金萩荘支店	運転資金として	220	
				(現金・預金計)	25,286,037
未収金	岩手県 試験分析26件分		公2・地域活性化プロジェクト補助金	1,052,000	
			公1・試験分析費の未収額	452,540	
			(未収金合計)	1,504,540	
流動資産合計				26,790,577	
(固定資産)					
基本財産	定期預金	岩手銀行一関支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業共用の財産として使用している。	7,500,000	
		北日本銀行一関支店	同上	7,500,000	
		東北銀行一関支店	同上	7,500,000	
		一関信用金庫萩荘支店	同上	7,500,000	
			(基本財産合計)	30,000,000	
特定資産	建物	空調設備系統2台	(共用財産) うち公益目的保有財産84% うち管理目的に使用する財産16%	9,945,957 8,313,342 1,632,615	
		定期預金	岩手銀行一関支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業共用の財産として使用している。	3,055,000
			北日本銀行一関支店	同上	3,055,000
		東北銀行一関支店	同上	3,055,000	
		一関信用金庫萩荘支店	同上	3,055,000	
		岩手銀行一関支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業共用の財産として使用している。	51,000,000	
	機械装置	機械装置3台	公益目的保有財産(公1、公2で共用している。)	7,399,876	
			(特定資産合計)	80,565,833	
その他固定資産	建物	衛生設備	(共用財産) うち公益目的保有財産82% うち収益目的保有財産2% うち管理目的保有財産16%	3,088,363 2,525,733 58,405 504,225	
		附属設備	収益目的保有財産	831,163	
		機械装置	機械装置8台	公益目的保有財産(公1、公2で共用している。)	22,075,416
	什器備品	備品6台	公益目的保有財産 収益目的保有財産 管理目的保有財産	4 55,802 40,846	
	電話加入権	0191-24-4689他1回線		(共用財産)	216,000
				うち公益目的保有財産67%	144,000
				うち管理目的に使用する財産33%	72,000
		(その他固定資産合計)	26,307,594		
固定資産合計				136,873,427	
資産合計				163,664,004	

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)	未払金	一関年金事務所	社会保険料事業主負担分	242,995
		新生ビル管理(株)	廃棄物運搬費	10,560
		(公社)一関市シルバー人材センター(株)	清掃作業費	20,556
		佐藤税理士法人	防犯設備費	68,200
			税務会計顧問費	41,250
			使用料及び賃借料(会計ソフト賃借料)	6,600
		富士ゼロックス岩手(株)	印刷製本費	35,352
		日本郵便	通信運搬費	5,278
		岩手銀行	支払手数料	1,650
		北日本銀行	支払手数料	440
		東北銀行	支払手数料	220
		一関信用金庫	支払手数料	220
		ヤマト運輸(株)	通信運搬費	6,270
		東北酸素(株)	消耗品費(液体窒素)	29,480
		カメイ(株)	光熱水料費	68,200
職員	旅費	3,219		
(有)東北クリーンサービス	使用料及び賃借料(モップ、玄関マット賃借)	2,937		
	〈未払金計〉	543,427		
	未払法人税等	国、岩手県、一関市	収益事業に係る法人税等	142,900
			法人会計に係る法人税等	22,000
	未払消費税		法人会計に係る消費税	387,500
	前受金		プラザ使用料	33,000
	預り金	職員	社会保険料	237,451
流動負債合計				1,366,278
(固定負債)	退職給付引当金		〈職員退職給付引当資産〉 公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の退職給付金の引当金である。	21,499
固定負債合計				21,499
負債合計				1,387,777
指定正味財産	機器購入補助金等 寄付金		機器購入の為の補助金	17,237,307
				93,220,000
指定正味財産合計				110,457,307
一般正味財産				51,818,920
正味財産合計				162,276,227
負債及び正味財産合計				163,664,004